

お知らせ

2009年11月9日  
アイエヌジー投信株式会社



## アイエヌジー投信 「ING・インドネシア株式ファンド」を新規設定

アイエヌジー投信株式会社(代表取締役社長:ダグラス・L・ハイマス、本社:東京都千代田区)は2009年11月30日に、「ING・インドネシア株式ファンド」(追加型投信/海外/株式)を新規に設定いたします。

当ファンドは、豊富な天然資源と恵まれた労働力を擁し、今後の成長が期待されるインドネシアの株式に投資を行います。インドネシアは、総面積が日本の約5倍、人口約2億3,000万人(世界第4位)の東南アジアの大国です。さまざまな天然資源に恵まれ、日本をはじめ、一足先に経済の躍進期に進んだ中国やインドへの資源供給国として期待されています。また、人口が多く、若年層の人口比率も高いため、今後中間所得層の急速な増加に伴い、中長期的に消費市場の本格的な拡大が期待されています。

当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行いません。ING・インドネシア株式マザーファンドへの投資を通じて主にインドネシアの証券取引所に上場する株式等に投資します。マザーファンドの運用は、アジアで豊富な運用と実績を持つ、アイエヌジー・インベストメント・マネジメント・アジアパシフィック・リミテッド(香港)のアジア株式運用チームが行います。

これまで、インドネシア株式のみを主要投資対象とする投資信託は国内ではほとんどありませんでした。この度、インドネシアの潜在成長率の高さに着目し、「ING・インドネシア株式ファンド」の設定を通じて、投資家の皆様には早く魅力的な投資機会を提供できることは、この上ない喜びです。今後も運用力の向上および投資家の皆様への情報提供に努めるとともに、さらに幅広い投資家の皆様に当ファンドをご紹介できるよう努めて参ります。

当初募集期間: 2009年11月9日(月)～11月27日(金)  
信託設定日: 2009年11月30日(月)

販売会社: 2009年11月9日現在 計8証券会社(会社名50音順)

株式会社SBI証券、香川証券株式会社、かざか証券株式会社、株式会社証券ジャパン、高木証券株式会社、水戸証券株式会社、山和証券株式会社、楽天証券株式会社

本資料は、アイエヌジー投信株式会社(以下「当社」)が作成した販売用資料です。金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断下さい。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境により変動します。従って、元本は保証されていません。当ファンドの投資信託説明書(目論見書)が販売会社にて提供します。

## お申込メモ

ファンド名	ING・インドネシア株式ファンド
商品分類	追加型投信／海外／株式
お申込期間	当初申込期間:平成21年11月9日(月)から平成21年11月27日(金) 継続申込期間は、当初設定日以降とします。
設定日	平成21年11月30日(月)
信託期間	原則として無期限
決算日	原則として毎年6月、12月の7日(休日の場合は翌営業日) 第1回決算日は平成22年6月7日(月)
収益分配	原則として、毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。
お申込・ご換金の受付	原則として、毎営業日に受付けます。ただし、インドネシア証券取引所の休場日、またはインドネシアおよび香港の銀行休業日と同日の場合には、受付は行いません。
お申込価額	当初申込期間中:1口当たり1円 継続申込期間中:取得のお申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込単位	<自動けいぞく投資コース>および<一般コース>ともに取扱販売会社が別途定める単位
ご換金価額	ご換金価額はお申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた額
ご換金単位	取扱販売会社が別途定める単位
ご換金代金支払日	ご換金申込日から起算して6営業日目からお支払いします。

### ■ 手数料の概要

お客様には以下の手数料をご負担いただきます。

#### <お客様に直接ご負担いただく費用>

- 申込手数料: お申込日の翌営業日の基準価額に対して上限3.675%(税抜き3.5%)を乗じた額とします。  
(注)販売会社により異なりますので、販売会社また委託会社までお問合わせください。
- 信託財産留保額: ご換金のお申込受付日の翌営業日の基準価額に対して0.5%の率を乗じて得た額とします。

#### <保有期間中に間接的にご負担いただく費用>

- 信託報酬: 保有している期間の純資産総額に対して年率1.785%(税抜き1.7%)
- その他の費用:組入有価証券の売買委託手数料、資産を海外で保管する場合の手数料、監査費用等をご負担いただきます。該当費用については、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことはできません。

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので表示することができません

※ 詳しくは投資信託説明書(目論見書)の「手数料及び税金」でご確認ください。

アイエヌジー投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第300号

(社)投資信託協会会員 (社)日本証券投資顧問業協会会員 日本証券業協会会員

## 主なリスクと留意点

当ファンドは、主として「ING・インドネシア株式マザーファンド」を通じて、外貨建株式など値動きのある証券に投資し、為替ヘッジを行いませんので、基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではなく、これを割込むこともあります。ファンドの投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

下記は、主なリスク及び留意点であり、当ファンドに係るすべてのリスクを網羅しているわけではありません。詳しくは投資信託説明書(目論見書)でご確認ください。

### ○株価変動リスク

株価は、政治・経済動向、発行企業の業績、市場の需給関係等により変動します。現時点で株価が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。組入銘柄の株価が大きく下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。

### ○為替変動リスク

ファンドは、主として外貨建資産に投資を行いますので、為替変動リスクが生じます。為替レートは、各国の金利変動、政治・経済動向、為替市場の需給、為替管理政策の変更等の要因により大幅に変動する場合があります。ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を直接的に受け、円高局面ではその資産価値を大きく減少させる可能性があります。

### ○信用リスク

株式の発行企業が債務不履行になった場合、当該企業の株価は大きく値下がりし、または、全く価値のないものになる可能性があります。発行企業の倒産、財務・信用状況の悪化等の影響により株価が下落すると、基準価額が下落する要因となります。

### ○流動性リスク

株式や債券等の有価証券を売買する場合、その相手方が存在しなければ取引が成立しません。特に、発行量の少ない場合や、多くの有価証券が長期保有の意思をもって保有されており流通量が少ない場合等、ファンドが最適と考えるタイミングで売買できない可能性があります。この場合、享受できるべき値上がり益が少なくなったり、または、被る損失が増加したりする可能性があります。

### ○カントリーリスク

一般に有価証券への投資は、その国の政治・経済動向、通貨規制、資本規制、税制等の要因によって影響を受けます。そのため、投資対象有価証券の発行国・地域の政治、経済、社会情勢等の変化により、金融・資本市場が混乱し、資産価値が大きく変動することがあります。また、エマージング・マーケット(新興国市場)は、一般的に先進諸国の市場に比べ、市場規模が小さく流動性が低いことなどから、前記各リスクが大きくなる傾向があります。また、情報開示制度や決済システム等が十分でない場合があることから、正確な情報に基づいた投資判断ができない可能性もあります。これらにより、ファンドの基準価額が影響を受け、損失を被ることがあります。

### ○換金性が制限されるリスク

通常と異なる状況において、ご換金に制限を設けることがあります。投資対象国の政治・経済情勢の変化等による証券取引所における取引の停止、為替取引の停止、海外送金の制限、その他やむを得ない事情があるときは、ご換金の申込みの受け付けを中止することがあります。

### ○解約資金の流出に伴うリスク

大量の解約資金を手当てするために保有有価証券等を売却する場合、ファンドの基準価額に影響を与える場合があります。さらに、ファンドはファミリーファンド方式による運用のため、マザーファンドの受益証券に投資する他のファンドの資金動向によってもファンドの基準価額に影響を受けることがあります。また、売却した有価証券等の売却代金回収までの期間、一時的にファンドで資金借入れを行うことによってファンドの解約金の支払いに対応する場合があります。その場合の借入金利はファンドが負担することになります。

### ○投資対象に係わる留意点

ファンドは、特定の国・地域に絞った銘柄選定を行い、ポートフォリオを構築しますので、株価変動、為替変動、信用、流動性リスクが相対的に大きくなる傾向にあり、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きくなる場合があります。